

平成 28 年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月7日実施)	総合評価(3月15日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	キャリア教育の推進を通して各学部の教育内容・方法を見直し、系統性・一貫性のある教育課程を編成し、授業改善に取り組む。	①キャリア教育についての考え方を共有する。 ②研究と連動させながらキャリア教育の視点での授業実践と検証に取り組む。	①キャリア教育について、全体研修会、部門別研修会を実施する。 ②学部での研究及び研究授業等で、キャリア教育の視点で授業のねらいや内容について検証するとともにアシストミーティング(中学部で実施した授業改善の取組)の実践を共有し、学校全体で取り組む。	①キャリア教育の考え方が教職員に浸透できたか(アンケートによる肯定的評価80%以上)。 ②学部研究を進めながらキャリア教育の視点での研究授業及びアシストミーティングを実施することで、授業の課題整理及び改善に取り組めたか。	①教職員アンケートによる肯定的評価78%であった。キャリア教育の意識を持って授業作りに取り組み始めている。 ②各学部でアシストミーティングを実施し、授業研究に取り組んだ。	研修等を通してキャリア教育の考え方の理解を深め、学部・部門を越えた授業研究に取り組む等、系統性・一貫性のある教育課程の編成に取り組む。	「キャリア教育」について教員間の十分な共通理解とともに、保護者等にも理解できるようにわかりやすい言葉に置き換える等の工夫が必要である。	キャリア教育についての一定程度の理解とアシストミーティングの各学部での実施が進んだ。保護者等関係者にわかりやすく伝える工夫が必要である。	引き続き授業実践・アシストミーティングによる改善に取り組むとともに、保護者等には懇談会や学校だより等を通してキャリア教育の考え方や取組について伝える。
2	生徒指導・ 支援	児童・生徒一人ひとりが健康で安全に、かつ、安心して教育活動に取り組めるよう専門性の高い指導を行うとともに校内指導体制を整備する。	①児童生徒の実態把握に有効なアセスメントツールの選択や実施方法等について精査するとともに相談担当、PT、OT等とのチームによる個別教育計画の見直しに取り組む。 ②緊急時シミュレーションを実施するとともにヒヤリハットの集約・共有により、児童・生徒が安全に安心して学校生活が送れるようにする。	①アセスメントツールの活用も含めたチームによる個別教育計画の検討に各学部1～2事例ずつ取り組み、その成果と課題を学部で共有する。 ②-1各学部・学級で緊急時シミュレーションを計画・実施する。 ②-2ヒヤリハット集約の取組意義を確認しながら、全教職員でヒヤリハット事例の共有を行う。	①適切なアセスメントツールを活用し、チームでの見立てや意見を反映しながら見直しができたか。 ②緊急時シミュレーションを実施し、それぞれの役割を確認し課題の整理・改善につなげられたか。また、ヒヤリハットの報告書が昨年度の件数(90件)を上回ったか。	①各学部1・4年に「校内相談シート」により児童生徒のニーズ把握を行った。 ②緊急時シミュレーションを実施し、課題整理と改善策を考えた。ヒヤリハットの報告は79件であった。	ヒヤリハットは発生件数自体が減少したとも考えられるが、事故の未然防止の観点から、教職員自身・相互の気付きを大切に、今後も「見える化」のため報告件数・内容を確認しながら安全・安心な学校づくりに取り組む。	アシストミーティングでもPT・OT等の活用が望まれる。ヒヤリハットでは、件数を目標化したり、内容に重み付け(点数化)して緊急度の高いものや重大なものから対策を考えたりするのはどうか。	「校内相談シート」の活用により相談担当等と連携してニーズの把握を行うことができた。また、緊急時シミュレーションも実施できた。ヒヤリハットの件数減少を受け、事例共有を確実に再考が必要である。	「校内相談シート」で把握したニーズに基づき日常の相談につなげながら個別教育計画の見直し・改善につなげる。ヒヤリハットの報告と共有を継続するとともに事故防止の具体的な対策を考え実践につなげる。
3	進路指導・ 支援	児童・生徒一人ひとりが卒業後に地域社会で自分らしく暮らせるよう、個々のライフキャリア・ワークキャリアを見据えた進路指導・支援を行う。	①小学部段階から進路指導・支援に関する研修会等を計画・実施する。 ②卒業後のアフターフォロー体制の整備に取り組む。	①小学部、中学部、高等部でそれぞれの段階での進路・支援の研修会を計画・実施する。 ②他校の工夫について情報収集を行い、校内体制案を検討し、試行する。	①進路・支援研修を実施し、保護者の理解が高まったか(アンケートの肯定的評価80%以上)。 ②本校の実情に合ったアフターフォロー体制を検討・試行し、課題整理・改善策が得られたか。	①小・中学部対象に記述式のアンケートを実施したが、肯定的評価がほとんどであった。 ②主に分教室の体制について課題整理に取り組んだ。	引き続き保護者対象の研修会等を実施するとともに、系統性・一貫性のある教育課程編成に取り組みながら入学から卒業後までを見通した進路指導・支援体制を構築する。	アンケートから、高等部保護者の中には進路支援が十分ではないと受け取れるところがある。小・中学部段階から具体的な情報提供等が必要ではないか。	各学部保護者対象の進路研修会等を実施した。今後は内容の精選に取り組む。アフターフォローについては整理された課題に基づき体制構築に取り組む。	より多くの保護者が研修会に参加できるよう実施時期や持ち方について工夫する。アフターフォローでは聴き取り項目の統一等、体制を整えていく。
4	地域等との 協働	地域のセンター的機能の充実を図るとともに、地域との交流の機会を積極的に設定し、交流を深めることを通じて共生社会の具現化に貢献する。	①本校小学部と井田小学校との交流を継続するとともに分教室と住吉高校との交流の拡充について検討し、実施につなげる。 ②地域の方と一緒にポッチャの体験講習会を行い、交流の機会を増やすとともに障害者スポーツの理解啓発を進める。	①-1本校・井田小学校の担任間でねらいを確認し交流を計画的に実施する。 ①-2住吉高校と交流について職員間で意見交換する機会を持ち、生徒主体の交流のあり方について検討する。 ②ポッチャの校内研修会を実施し、授業に取り入れるとともに体験講習会を計画・実施する。	①-1井田小学校・住吉高校と充実した交流が計画・実施できたか。 ②地域の方との体験講習会を実施し、障害者スポーツの理解啓発の機会になったか(アンケートの肯定的評価80%以上)。	①井田小とはねらいを共有して実施できた。住吉高の体育祭に実行委員会から参加し共に作りあげる機会を設定できた。 ②校内研修会を行い授業にも取り入れた。地域対象の講習会は3月27日実施。	中学校も含めた学校間交流の充実を図るとともに、障害者スポーツを通じた地域との交流の機会を引き続き積極的に設け、特別支援学校の教育及び障害者スポーツの理解啓発を進める。	住吉高とは文化祭のステージ発表の活用ができる。中学校とも意図的に交流が推進されると良い。障害者スポーツ以外の(音楽等)の交流の機会も考えてはどうか。	井田小・住吉高との交流を実施できた。ポッチャや車イスバスケットの講習会等も開催した。今後は中学校との交流や障害者スポーツ等を通じた地域との交流をさらに進める。	井田小・住吉高とは内容を充実させるとともに中学校との交流実施について検討を進める。ポッチャを中心に地域と交流し、障害者スポーツの理解啓発の機会を設ける。
5	学校管理 学校運営	専門性の高い人材の育成と保護者や地域から信頼・信用されるよう開かれた風通しの良い学校づくりを行う。	①防災教育を進めるとともに近隣関係機関との合同防災訓練の計画・実施について検討する。 ②ICT機器の活用に向けたマニュアル作りと研修会の計画・実施に取り組む。	①-1避難訓練等に合わせた各学部の実態に応じてDIG等と取り入れた防災教育を計画・実施する。 ①-2近隣関係機関や地域の方及び保護者に本校の防災訓練の見学・参加を呼びかける。 ②マニュアルを作成し研修会で活用するとともに機器の活用事例を集約し、共有する。	①各学部の実態に応じた防災教育を計画・実施するとともに、近隣関係機関や地域の方及び保護者が見学・参加でき、今後の防災訓練の参考となる意見等が聴取できたか。 ②マニュアルを作成し、活用が図られたか。また、実際に活用した事例を集約・共有し、授業への活用が進んだか。	①教員によるDIG研修や高等部生徒による非常食の喫食訓練を行った。近隣関係機関・地域の方が避難訓練の見学に来られ意見をうかがうことができた。 ②マニュアルは現在、作成中である。	防災教育をさらに進めるとともに二次避難所としての本校の役割も踏まえ近隣関係機関・地域との連携のあり方を考える。ICT教育についてはマニュアルの整備と機器を活用した授業に取り組む。	区の危機管理室が防災会議を井田小会場で開催しているため参加してはどうか。ICT教育について、学部による取組・活用によって解消できると良い。	近隣関係機関参加の避難訓練や生徒の非常食喫食訓練を実施した。今後は二次避難所体制の明確化と、ICT教育ではマニュアルを基に学校全体での実践・活用が課題である。	シェイクアウトや非常食喫食、近隣関係機関との合同避難訓練等より実践的な訓練を実施する。ICT教育では実践の積み上げと学校全体での共有の仕組みを整える。